



<https://hcuph.tsukuba.ac.jp/>

筑波大学大学院
人間総合科学学術院 人間総合科学研究群
パブリックヘルス学位プログラム (3年制博士課程)

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学体育芸術エリア支援室 大学院教務 Tel.029-853-2575
パブリックヘルス学位プログラム事務 Tel.029-853-2591



連携

 国立保健医療科学院
National Institute of Public Health

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6



連携大学院 Cooperative Graduate School System

パブリックヘルス 学位プログラム (3年制博士課程)

Doctoral Program in Public Health

筑波大学大学院 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群
Graduate School of Comprehensive Human Sciences
Degree Programs in Comprehensive Human Sciences
UNIVERSITY OF TSUKUBA

授与する学位

博士 (公衆衛生学) (Ph.D. in Public Health)

目的

筑波大学と国立保健医療科学院の連携大学院により、超少子高齢社会や地球規模で直面する多様な健康問題の解決にむけて、公衆衛生学の専門知識および関連領域の学際横断的知識と研究能力を備えた高度な公衆衛生学専門家を養成する。

養成する人材像

公衆衛生に関する高度専門知識と学際的知識および研究教育能力を十分に兼ね備え、公衆衛生行政や地域・学校・職域・国際保健の向上に貢献する人材。

ディプロマ・ポリシー

知の創成力：未来の社会に貢献し得る新たな知を創成する能力

マネジメント能力：俯瞰的な視野から課題を発見し解決のための方策を計画し実行する能力

コミュニケーション能力：学術的成果の本質を積極的かつ分かりやすく伝える能力

リーダーシップ力：リーダーシップを発揮して目的を達成する能力

国際性：国際的に活動し国際社会に貢献する高い意識と意欲

研究力：公衆衛生学分野における最新の専門知識に基づいて現代的・将来的な研究課題を設定し、自立して研究計画を遂行できる能力

専門知識：公衆衛生学分野の先端的かつ高度な専門知識、および関連する諸科学の学際的専門知識

倫理観：公衆衛生学分野の研究者にふさわしい倫理観と倫理知識、および専攻する特定分野に関する深い倫理的知識

学際的応用力：公衆衛生学に係る学際的知識と技術を現代的・将来的課題の解決に応用する力

修了後の進路

国内外の大学および研究機関の専門教育研究者、保健医療福祉行政官、保健医療機関の専門管理職。

カリキュラム・ポリシー

人間系・体育系・医学医療系の多分野横断の教員による教育学、心理学、福祉学、医学、看護学、保健学などの包括的カバーに加えて、国立保健医療科学院との連携によって、公衆衛生学に関わる学際融合の専門知識を学び、高度な研究能力、倫理観、課題解決能力を養う。

アドミッション・ポリシー

求める人材

公衆衛生学やその関連領域において、国内外で生じている問題に深い関心を持ち、その解決に高度な専門知識と技術を用いた学際的な研究を通して意欲的に取り組む姿勢を有する人材を求める。公衆衛生学やその関連領域の学修実績・実務経験を有することが望ましい。

入学者選抜方針

専門および英語の筆記試験、研究計画に基づく口述試験により、総合的に評価する。

研究指導教員一覧

(50音順)

市川 政雄 教授	博士 (保健学)	田宮 菜奈子 教授	医学博士
伊藤 智子 准教授	博士 (ヒューマン科学)	辻 大士 助教	博士 (体育科学)
岩上 将夫 教授	Ph.D.	富尾 淳 教授*	博士 (医学)
牛山 明 教授*	博士 (理学)	中田 由夫 教授	博士 (体育科学)
大藏 倫博 教授	博士 (体育科学)	堀 愛 准教授	博士 (医学)
麻見 直美 教授	博士 (学術)	宮脇 敦士 准教授	博士 (医学)
片岡 千恵 准教授	博士 (教育学)	門間 貴史 助教	博士 (体育科学)
川戸 美由紀 教授*	博士 (医学)	吉田 都美 教授	博士 (医学)
近藤 正英 教授	Ph.D.	渡邊 多永子 准教授	博士 (医学)
武田 文 教授	保健学博士		

(*連携：国立保健医療科学院)

